

単元名 書きぞめ

配当時間 3時間

- 単元の目標 (1) 書き初めの姿勢や気を付けることを理解し、筆使いと筆圧に気を付けて書くことができる。
 (2) 自分のめあてに気を付けて、これまでの学習を生かして書くことができる。
 (3) 文字の大きさや中心に気を付けて、字形を整えて書こうとする。

標準的な展開例

04020204_001

【教材名】『元気』または『美しい心』（毛筆）（P. 50～P. 56）

【準備等】水書板，電子黒板，練習用紙，書きぞめ用紙（横幅20 c m程度）

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～3 文字の大きさや中心に気を付けて、『美しい心』を書き初め用紙に書く。 ★文字の大きさや中心に気を付けて、字形を整えて書こう ○書き初めの姿勢を確認する。</p> <p>○書き初め用紙に『美しい心』を試し書きし，課題をつかむ。 ○文字の大きさや字配り，書くときの気持ちについて話し合う。</p> <p>○練習する。</p> <p>○まとめ書きをする。</p> <p>○試し書きと比べて，自己評価・相互評価する。</p> <p>○「今年の目標」を毛筆で書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書P. 53～P. 56を見ながら，書き初めの姿勢には「床の上で書くときの姿勢」と「立って書くときの姿勢」があることを説明し，本時は立って書くことを伝える。 机を縦に置き換え，書く準備をさせる。上から下に書き進み，書いた部分は机の前方に送っていくとよいことを確認する。 教科書の文字を見ながら，毛筆で書かせる。 教科書P. 53～P. 56の上下にある点を線で結ばせ，行の中心がどこにあるか確かめさせる。 四文字の間がほぼ等間隔であることを確認する。 『美』の横画と横画の間，漢字と平仮名の大きさの違い，『美』と『心』，『し』と『い』の概形の違いに気を付けて書くことを確認する。 【評】話し合いの様子や作品を通して，文字の大きさや字配りに対する「知識・技能」を評価する。 書き初め用紙を半分に折らせ，中心線を意識して練習させる。 正しい筆使いで書くように助言する。特に『心』の二画目の「そり」を「曲がり」にしないように気を付けさせる。 学年や名前も書き初め文字と同様に，行の中心や文字と文字との間隔に注意して書けばよいことを伝える。 【評】練習や作品を通して，書き初めに関する「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 本時の目標である文字の大きさや字配りに気を付けて，字形を整えて書くことができたか自己評価させる。 相互評価させ，試し書きと比較してよかったところを認め合えるようにする。 練習の成果を認め，達成感をもてるようにする。 【評】作品や自己評価を通して，文字の大きさや中心に対する「知識・技能」を評価する。 年頭の目標を書き初め用紙に毛筆で書かせる教室に掲示して意欲を高めるのもよい。 言葉は短くし，書きやすいよう配慮する。

【 備 考 】

選択課題であるので，半紙を用いて『元気』を書いてもよい。